

社会福祉法人 東京援護協会



東援だより 第31号

理 念

私達は、高い志を持ち、時代の要請に基づき先駆的に社会福祉の充実を図るため、活力のある経営を行って、社会福祉法人としての責任を果たし、社会に貢献してまいります。

も く じ

大特集	東京援護協会創立65周年記念文化祭	
●	評議員祝辞	2
●	第1部 研究発表会	2
●	第2部 懇親会・特技お披露目	4
■	上半期 法人施設公開行事日程	6
■	平成29年度 法人内研修実施報告	7



東京援護協会 創立 65 周年記念文化祭 理事長挨拶

利他の精神と団結の力

理事長 山口 桂造



当法人は、今年で創立66年を迎える長寿法人です。長寿の節目を祝って開催しました

「60周年記念式典」や「65周年記念文化祭」は記憶に新しいことと思います。特に文化祭では、利用者さんの転倒防止を目的とした「足指体操」など4つの研究発表と、

利用者さん楽しんでもらおうと修練を積んだ「鳴子ソーラン節」など5つの特技のお披露目が行われ、会場は大変な盛り上がりを見せました。

そして、発表と特技を行う職員の心の奥に、「すべては利用者さんのために」という気持ちのあることが、はつきりと感じ取れました。

当法人が、長い歴史を刻んで来ることができた理由は、まさにここにあると思います。もう少し詳しく申し上げますと、「利他の精神」と「団結の力」だと思っています。

法人理念のバックボーンである利他の精神とは、私利私欲を超え、他人の喜びを自分の喜びとする、という精神です。この精神は、多くの職員の共感を得てきました。そして、共感とは、目指す方向に総力を結集する団結の力を生み出します。

実例があります。昭和61年6月、ある区に障害者施設が開設され、その運営を当法人が受託しました。実は、その6か月前、運営を受託していた他の法人が、突如当該区に辞退の申し出をしました。困った区から、急ぎよ当法人に依頼がありました。6か月という準備期間を考えればお断りするのが普通です。しかし、当法人はお受けしました。開設の時を長くして待っている利用者さんに思いを馳せ、運営主体である区の苦悩を理解しての決断でした。まさに利他の精神が発揮された瞬間でした。当時の当法人の全職員は、その決断に共感し、一致団結して準備に当たり、予定通り6月の開設を迎えました。

今、時代は大きな転換期を迎えています。年号の改正、IT化の進展、IPS治療の展開、働き方改革、少子高齢化の一層の進展等枚挙にいとまがありません。我々は、これらの荒波を乗り越え、100年法人を目指して行きます。利他の精神と団結の力を持って、時代の要請に応え、先駆的な取り組みに邁進して行きたいと思えます。

65th Anniversary

東京援護協会創立65周年記念文化祭特集

昭和27年に「社会福祉法人 東京援護協会」が発足して65周年を迎えました。これを記念して平成30年3月11日、上野・東天紅「鳳凰の間」において「創立65周年記念文化祭」が開催されました。今回のテーマは「法人の歴史と伝統を紡いできた『利他の精神』の継承」であり、「高い志と活力にみなぎった先駆的取り組みが100年先の法人を創る」をスローガンに掲げております。当日は、来賓、評議員、理事、職員合わせて327名の参加で、働きやすい職場づくりプロジェクトチームが中心となって準備を進めて参りました。特集では、各施設の取り組みの成果発表や、魅力溢れる特技披露の様子を皆様にお届けします。

◆ 評議員 祝辞 ◆

東京援護協会創立65周年を祝す

東京援護協会 評議員 関口和雄



東京援護協会創立65周年おめでとうございます。

また、記念文化祭にお招きいただきありがとうございます。

戦後の困難がまだ残る昭和27年、全国で初の社会福祉法人として改組・スタートして以来、様々な福祉ニーズに応えてきた法人に、改めて敬意を表します。

創立65周年文化祭の発表は、緊張感溢れるもの、軽いユーモアのあるものなど様々で、私も大いに楽しませていただくとともに、その充実した内容から、現場での仕事の素晴らしさと職員の士気の高さを改めて認識することができました。これも、理事長をはじめとする役員の方々の指導の下、法人の理念が職員の全てに定着しているからだと思えます。

今、社会福祉法人は、非課税措置・内部留保等、そのあり方に厳しい眼が注がれ、社会貢献活動の必須化や経営ガバナンスの強化などの取り組みが求められています。協会はこれまで、地域公益活動の新たな展開など、これらの時代の変化・要請に的確に 대응してきましたが、これらの取り組みが真に効果を発揮し、法人の一層の発展を実現するには職員の理解と熱い思いが必須です。

発表会での職員の生き生きとした姿を拝見し、法人の益々の発展が確信できたことは文化祭に参加させていただいた大きな収穫でした。

今後の、法人の益々のご発展を祈念いたします。

第1部

研究発表会

65th Anniversary

東京援護協会の将来ビジョン

ケアハウス松が谷 次長 川原峰彦

次課長会の発表で私達が伝えたかった事は、法人が継続的に発展してきた根底に、初代山口栄次郎理事長の「利他の精神」が引き継がれ、この伝統を原動力に今後も法人が期待される役割を果たしていく事の大切さです。又、AI等の波及後の未来像では、機械には代替できない「人と人との心の交流こそ福祉の原点」であり、私達は必要とされる存在であることです。利用者様やご家族の幸せのため、より良い支援をしていくためにも、職員一人ひとりが生き生きと活躍できる、職員の幸せも実現できる法人で在り続けることです。



まるで人が入っているかのよう な動きをするロボットとの体操体験は好評でした。これからも明るく楽しい未来を想像しながら、職員とともに前進していきたいと思えます。

65th Anniversary

第1部

研究発表会

**入所型・通所型自立訓練施設を
継続利用し復職に結びついたA様について**

練馬区中途障害者通所事業

主任理学療法士 妹尾浩一

東京高次脳機能障害者支援ホーム

作業療法士 安藤健太

東京援護協会には練馬区内に2つの自立訓練施設があります。1つは都内唯一の高次脳機能障害者に特化した入所施設である東京高次脳機能障害者支援ホーム(HiBDY・Tokyo)、もう1つは通所施設の練馬区中途障害者通所事業(だんだん)です。同じ区内に入所型と通所型の自立訓練施設があるのは都内でもめずらしく、連携して支援を行える点が強みです。

今回報告した事例は、医療機関のリハビリ終了後に地域生活を再開した方が、復職を目指して両施設を利用し復職に至った事例です。入所施設の強みである「生活そのものに直接介入できること」、通所施設の強みである「より実践的な訓練ができること」、それぞれの特徴を活かして、今後も連携して利用者様のステップアップを支援していきたいと思えます。



自閉症支援の取り組みについて

関町福祉園

主任生活支援員 岩村友敬
生活支援員 菅野景子

津波古智美

七戸啓太

大葉淳史



自閉症支援において、利用者様に、安定と楽しさを感じてもらえるために何ができるかと考えた時に、大切な事は「観察」する事でした。

ただ、「観察」するだけではありません。チームでしっかりと記録に残し、分析して支援の方向性の確立、改善と統一化を図り、その結果を振り返り、繰返し計画を立てました。単純な事かもしれませんが、コツコツと実践する事で利用者様が混乱してしまう場面が日常的に減りました。また、支援を行う上で職員の不安感の軽減をはかる事もできました。利用者様が落ち着いて降園され、また翌日笑顔で登園していただける日常が増え、継続していただける支援をこれからもチームとして行っていきたいと思えます。

「足指体操」

いずみの苑

介護職員 齋藤隼人
草野利恵子

内山貴史

いずみの苑では、歩行不安定なご利用者様に「足指体操」という転倒予防リハビリを実施しています。ご利用者様の転倒は大幅に減少、歩行状態も改善し、喜びの声をいただきました。

その成果を、東京都社会福祉協議会主催による「アクティブ福祉in東京・17」において発表し、最優秀賞を獲得しました。3月に開催された「法人65周年文化祭」においても口演発表を行い、皆様からご好評をいただきました。

本発表は9月に幕張メッセ開催の「関東ブロック老人福祉施設研究総会」に東京代表として推薦され、発表が決定しております。これを機に、多くの福祉関係者に本研究を知っていただくことを大変嬉しく思います。

協力して下さった多くの方々に、感謝の意を表したいと思います。



懇親会



服部 清道 評議員 乾杯



浦井 正明 評議員 祝辞



ケアハウス松が谷



東が丘荘



三園福祉園&本部



町田荘



練馬区中途障害者通所事業



小豆沢福祉園

5
Anniversary

部
会・
披露目

特技お披露目



ダンス「エビカニクス」
(関町福祉園)



独唱「マイウェイ」
山口 英次 常務理事



バンド演奏「ガッツだぜ!!」
イケメンセブン
(自立支援センター豊島寮)



スティールパン演奏
「アンダー・ザ・シー」
(大泉障害者支援ホーム)



ピアノ独唱「千の風になって」
本野 央
(前野高齢者在宅サービスセンター)



鳴子踊り「鳴子ソーラン節」
TAKA-ザイル
(高島平福祉園・三園福祉園・田柄福祉園)



閉会の挨拶
帆刈 祥弘 副理事長



全員合唱「花は咲く」
指揮 小池 睦美
(前野高齢者在宅サービスセンター)

6 t Anniv

第
懇親
特技お

東京援護協会後援会からのお知らせ

平成29年度の加入状況、及び収支の状況をご報告いたします。
平成30年度も引き続きご入会いただけますよう、お願い申し上げます。

平成29年度収支報告 (単位:円)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	7,828,540	会費振込手数料	7,980
会費収入(個人)	780,000	事務費	22,098
受取利息	68	次期繰越金	8,578,530
合計	8,608,608	合計	8,608,608

平成29年度会員及び会費の状況

内 訳	件 数	口 数	会 費
個人会員	24	105.0	210,000円
法人・団体会員	37	57.0	570,000円
合 計	61	162.0	780,000円

施設長人事

	新任施設長	退任施設長
板橋区立蓮根福祉園	須賀 秀昭	桐生 瑞代
目黒区東が丘障害福祉施設	石綿 晃	安樂 美都江
練馬区立関町福祉園	中村 哲明	中田 圭太郎

平成30年度後援会への入会のお願い

個人会員	1口(年会費2千円より)
法人・団体会員	1口(年会費1万円より)
郵便振替口座	・口座記号 001006 ・口座番号 545107 ・口座名義 東京援護協会後援会

※各施設に振込用紙を用意しておりますので、ご利用ください。
(振込手数料は後援会負担となります)

平成30年度 上半期 法人施設公開行事日程 及び 地域交流行事 実施報告

施設名	行事名	月 日	時間帯	内 容
目黒区東が丘障害福祉施設・東が丘荘合同	あじさいまつり	6月2日(土)	10:00~14:30	地域の小学校等参加の地域交流イベント(模擬店多数、プラスバンド等多数)
大泉障害者支援ホーム	ガイドヘルプ入門講座	6月27日(水)	13:30~15:30	地域公開講座
田柄福祉園	ひまわりフェスタ(納涼祭り)	7月7日(土)	17:00~19:00	地域交流行事・自主生産品販売・模擬店・イベント等。
大泉障害者支援ホーム	夏の雲小学校フェスティバル	7月14日(土)	14:00~16:00	夏の雲小学校父母会主催の地域交流イベント(模擬店等)(視覚障害者理解促進コーナー担当)
練馬区立関町福祉園	納涼会	7月14日(土)	17:00~19:30	地域交流行事(各施設の自主生産品出店、模擬店、コンサート、ゲーム等)
練馬区中途障害者通所事業だんだん	中村橋福祉ケアセンター夏祭り「だんだんわくわく出会いフェス」	7月27日(金)	10:30~14:30	中村橋区民センターと合同で開催する地域交流・公開行事。自主生産品販売、模擬店、喫茶コーナー、外部団体による販売やゲームコーナー(スタンプラリー)、体験コーナー、音楽サークルによるミニコンサート、施設紹介。
高島平福祉園	納涼祭	7月27日(金)	18:30~20:00	地域交流行事、西台北町町会との共催で実施。(盆踊り・自主製品販売・模擬店コーナー等)
小豆沢福祉園	夏祭り(台風の為中止)	7月28日(土)	10:30~14:30	地域交流行事、盆踊り・太鼓・模擬店・作業作品販売など各コーナーあり。
町田荘・サルビア荘合同	納涼祭(台風の為中止)	7月28日(土)	17:30~19:45	納涼祭を通して、施設利用者と家族、地域住民並びにボランティアとの連携交流。
蓮根高齢者在宅サービスセンター	夏祭り	8月8日(水)~10日(金)	14:00~15:00	地域交流行事(アトラクション、喫茶コーナー、ケーキお菓子販売など)
三園福祉園	納涼祭り	8月18日(土)	16:30~19:00	自主生産品販売・模擬店・その他イベントも予定。
前野福祉園	納涼祭	8月18日(土)	18:00~21:00	地域交流行事として前野4丁目町会と合同で開催。
蓮根福祉園	れんこんまつり	8月25日(土)	10:30~14:00	地域交流行事として地域団体の協力を得て開催。自主製品販売・模擬店など。(開設30周年記念式典)
大泉障害者支援ホーム	アニマルセラピー	8月26日(日)	13:30~16:00	地域公開行事
大泉障害者支援ホーム	ふれEYEまつり	9月29日(土)	10:00~15:30	施設紹介、各施設の自主生産品販売、模擬店、各種アトラクション等。

平成29年度 法人内研修実施報告

< 階層別研修 >

研修名	実施日	受講数	目的	概要
新任職員研修	第1回 4月13日(木)	23名	◎法人理念・経営方針・組織・事業運営について	
	第2回 10月5日(木)	9名	◎法人職員としての帰属意識・連帯感の醸成 ◎法人事業概要・人事・給与・福利厚生・人材育成・人事考課・キャリアパス ◎事例検討・先輩職員を囲んで	
中堅職員研修(初級) (採用3~4年)	7月6日(木)	17名	◎新人職員指導に必要な知識・技術・役割の習得 ◎職場のコミュニケーションとチームワーク ◎自己啓発の基本と挑戦目標 ◎外部講師による演習・講義	
中堅職員研修(上級) (採用5年以上)	7月10日(月)	17名	◎業務遂行に必要な知識・技術・役割の習得 ◎業務改善の必要性と課題の発見 ◎後輩職員指導の基本と実践等 ◎外部講師による演習・講義	
指導職主任研修 (新任・現任)	6月26日(月)	13名	◎指導職職員としての自覚と意識の確立 ◎メンタルヘルスケアと指導職職員への期待 ◎部下のやる気を引き出すアプローチ ◎外部講師による演習・講義	
指導職係長研修 (新任・現任)	7月31日(月)	10名	◎部下の育成・課題解決能力の向上 ◎指導職職員のメンタルヘルスの理解 ◎部下のやる気を引き出すアプローチ ◎環境分析と課題の明確化 ◎外部講師による講義・グループ討議	
幹部職員研修	12月15日(金)	165名	◎外部講師による講演 ◎「理念経営の実践による強い組織創り」 講師 TOMA コンサルタンツグループ 会長 藤間 秋男 氏 (理事長・副理事長・常務理事 施設長・次長・課長・係長・主任対象)	

< 課題別研修 >

研修名	実施日	受講数	目的	概要
新任人事考課者研修	7月14日(金)	12名	◎適正な人事考課の習得 ◎法人内部講師による講義 (人事考課実施要綱に準ずる)	
幹部職員候補研修	① 7月11日(火)	6名	◎幹部職員に必要な業務遂行能力の習得 ◎理事長・副理事長・常務理事との懇談	
	② 10月10日(火)	6名		
	③ 1月16日(火)	6名		
接遇研修	8月3日(木)	19名	◎利用者サービスの向上 ◎外部講師による講義・演習 ◎法人理念の実現のための接遇について	
文書専門研修	11月9日(木)	17名	◎法人内部講師による講義 ・文書の基本・演習(副理事長) ・法人の文書事務(事務局長)	
プリセプター研修	2月16日(金)	養成 19名 プリセプター 26名	◎プリセプターの資質向上 ◎外部講師による講義・演習	
	第1回 6月15日(木)	12名	一般職及び専門職	
トップと語ろう	第2回 9月14日(木)	12名	一般職及び専門職	
	第3回 11月15日(水)	10名	一般職及び専門職	
施設間交流研修	H29.4~H30.3	延17名	17施設(同種・異種)での研修	

< 専門会議 >

会議名	実施日	出席者数	概要
次課長会議	① 6月16日(金)	10名	◎次課長職員対象 ◎理事長・副理事長・常務理事との懇談
	② 9月20日(水)	8名	
看護職専門会議	① 6月16日(金)	17名	◎熱中症対策について ◎情報交換等
	② 11月17日(金)	20名	
栄養士専門会議	① 5月18日(木)	11名	◎栄養業務に関わる各施設の課題について ◎衛生管理について
	② 1月18日(木)	12名	
研修担当者会議	① 7月18日(火)	26名	◎プリセプター制度について ◎プリセプター制度、交流研修について
	② 12月12日(火)	18名	

平成29年度 下半期 地域交流行事報告

さくらまつり

東が丘福祉工房 生活支援員 山崎紗代子

今年は桜の開花が早く、3月23日のちようど良い時期での開催になりました。

東が丘保育園の園児やたくさんの方に来ていただき、楽しんでいただけました。

毎年、来ていただいているゴンゾーさんのタンバリンお笑いショーをはじめ、どりいむぼっくすさんの大道芸や、東が丘荘のフラダンス部の皆さんにフラダンスを披露していただきました。

利用者の方はイベントを見たり、買い物やお抹茶を飲むなど季節を感じながら、参加することが出来ました。





法人の徽章

○徽章の理念は「平等」を現しています。
 ○上半分は「太陽」を、下半分は「海」を意味しています。
 『太陽』は生きる者全てに、わけ隔てなく光を与え育みます。そして人への愛、温もり、笑顔などのイメージが広がります。『海』は、地球上のあらゆる生物を産み、暖かく育ててくれた場です。
 ○『太陽』と『海』の存在が、平等を実現しています。

社会福祉法人東京援護協会施設一覧

〒101-0044

法人本部

千代田区鍛冶町1-8-5 新神田ビル2階
 TEL : 03-3256-4711

施設(事業)名	住所
町田荘 施設入所支援事業 生活介護事業 短期入所事業(空床利用型)	〒194-0203 町田市図師町2987 TEL : 042-791-0905
サルビア荘 特別養護老人ホーム 短期入所生活介護事業 指定居宅介護支援事業 通所介護事業	〒194-0203 町田市図師町2987 TEL : 042-794-0333
東京高次脳機能障害者支援ホーム (HiBDy.Tokyo) 施設入所支援事業 生活介護事業 自立訓練(機能訓練)事業 短期入所事業(空床利用型)	〒178-0065 練馬区西大泉5-36-2 TEL : 03-3925-0088
練馬区立心身障害者福祉センター 練馬区中途障害者通所事業(だんだん) 自立訓練(機能訓練) 自立訓練(生活訓練) 地域活動支援センター	〒176-0021 練馬区奥井1-9-1 TEL : 03-3926-7214
高島平福祉園 生活介護事業 就労継続支援B型事業	〒175-0082 板橋区高島平9-25-12 TEL : 03-3550-3403 (分場) 〒175-0082 板橋区高島平9-1-8-201 TEL : 03-5399-7170
板橋区立障がい者福祉センター 地域活動支援センター 指定相談支援事業 基幹相談支援センター事業	〒175-0082 板橋区高島平9-25-12 TEL : 03-3550-3401
蓮根福祉園 就労継続支援B型事業	〒174-0043 板橋区坂下2-8-1-101 TEL : 03-5392-0761
前野福祉園 就労継続支援B型事業 前野高齢者在宅サービスセンター 通所介護事業 指定居宅介護支援事業	〒174-0063 板橋区前野町4-16-1 TEL : 03-5392-8731
特別養護老人ホームいすみの苑 短期入所生活介護事業 通所介護事業 指定居宅介護支援事業 訪問介護事業 地域包括支援センター	〒174-0042 板橋区東坂下2-2-22 TEL : 03-5970-9101
蓮根高齢者在宅サービスセンター 通所介護事業	〒174-0046 板橋区蓮根2-28-2 TEL : 03-5994-1111

施設(事業)名	住所
小豆沢福祉園 生活介護事業	〒174-0042 板橋区東坂下1-4-9 TEL : 03-3969-5131
ケアハウス松が谷 軽費老人ホーム 通所介護事業 指定居宅介護支援事業 地域包括支援センター	〒111-0036 台東区松が谷4-4-3 TEL : 03-3845-6501
特別養護老人ホーム蔵前 通所介護事業 指定居宅介護支援事業 地域包括支援センター	〒111-0051 台東区蔵前2-11-7 TEL : 03-3862-3033 〒111-0051 台東区蔵前2-11-3
自立支援センター豊島寮 自立支援事業 地域生活継続支援事業 地域生活移行支援事業 巡回相談事業 ホームレス生活サポート事業	豊島区内
大泉障害者支援ホーム 施設入所支援事業 生活介護事業 短期入所事業 就労移行支援事業 就労継続支援B型事業	〒178-0061 練馬区大泉学園町9-4-2 TEL : 03-3978-5581
東が丘荘 更生施設 通所・訪問事業 ステップハウス事業 宿泊所	目黒区内
目黒区東が丘障害福祉施設 目黒区立東が丘福祉工房 生活介護事業 目黒区立東が丘あじさいホーム 短期入所事業 福祉ホーム	〒152-0021 目黒区東が丘1-21-15 工房 TEL : 03-3410-0778 ホーム TEL : 03-3410-6030
練馬区立関町福祉園 生活介護事業	〒177-0053 練馬区関町南3-15-35 TEL : 03-3594-0217
三園福祉園 生活介護事業 重症心身障害児(者)通所事業	〒175-0091 板橋区三園2-9-16 TEL : 03-5383-9587
田柄福祉園 生活介護事業	〒179-0073 練馬区田柄3-14-9 TEL : 03-3577-2201

発行日 平成三〇年九月三〇日
 発行者 山口 桂造
 社会福祉法人 東京援護協会

東京都千代田区鍛冶町一八一五
 新神田ビル2階
 電話 〇三―三二五六一四七一

編集後記
 今回の東援だよりは、3月に行われた「法人創立65周年文化祭」の様子をお届けしています。研究発表や特技披露等、これまで積み上げてきた成果や職員のいきいきとした様子をお伝えできれば幸いです。当法人が65年という長い期間、継続的に発展してこられた背景には、利用者の皆様やご家族の皆様、地域の皆様、関係機関の方々のお力添えがあつてのことと感謝しております。今後も職員一同、皆様にご満足頂けるサービス提供をしていけるよう努めてまいります。
 次回は、法人の新たな取り組み等を掲載予定です。次回は、法人の新たな取り組み等を掲載予定です。次回は、法人の新たな取り組み等を掲載予定です。



「ベランダから見える東京スカイツリー」
 撮影：特別養護老人ホーム蔵前

この施設この一枚